

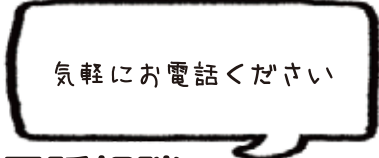
ひとりで抱えこんでいませんか？

気分が落ち込む。
不安になったり、イライラする。
眠れない、食欲が出ない。
罪悪感を感じる。
体がいつもだるい。

くまモン
ひとりで悩まないもん！



これだけ大きな災害が起きた後、こういう気持ちになるのは自然なことです。
気分がすぐれないときが続く場合、ひとりで抱え込まずに、気軽に相談をしてくださいね。
困っている方や気になる方を見かけた場合も、ご連絡をください。
近くにいる親しい人たちへ自分の気持ちをお話することも効果があります。



心の緊急電話相談

開設時間：午後2時～8時まで

フリーダイヤルにご連絡ください。

 0120 (111) 916

もう一頑張り

南阿蘇中学校体育館で避難生活を送っている長野幸子さん(長野)。今回の大地震では、自宅の倒壊は免れましたが、地震以降断水が続いており、4月16日から自宅での生活はできていません。避難してすぐは、一緒に避難生活を送る同じ長野地区の皆さんで励まされていて、避難生活に「だんだん疲れが出てきた」と話されます。また、愛犬2匹とも離れ離れの生活を送り寂しい思いもされている長野さんですが、避難所の中学校から外に出て、長野地区の仲良しの皆さんと春の花を見たり、山を眺めたりして散歩を楽しまれています。「山を見ると、山菜を取りに行きたくなります。家に帰りたい」と長野さん。それでも、「寝るところがあるのに、警沢は言わない」、「自分がしっかりしないと」と力強く前向きな気持ちを語られました。(4月30日取材)



長野幸子さん(左端)と長野地区の皆さん



▶4月14日午後9時26分 最大震度7(村の震度5弱)、16日午前1時25分頃 最大震度7(村の震度6強)の大地震が熊本県を襲いました。多くの尊い命が奪われ、多くの家屋などが倒壊、交通の大動脈である阿蘇大橋の崩落…。私たちの穏やかな生活を一気に奪った大地震により自然の猛威を思い知らされました。しかし、震災後すぐに全国各地から届いた支援物資、日本各地の自治体などからの応援…たくさんの皆さんに支えていただいています。一歩ずつ前へ進んでいきましょう。

- ▶今回は、号外として村民の皆さんへのお知らせを中心に掲載していますので、お役立てください。
- ▶全国の皆さんから早々にたくさんの支援物資を送っていただきました。ありがとうございます！



〈お詫び〉この度の地震により、「広報南阿蘇」5-6月号は、休刊させていただきました。ご了承ください。